

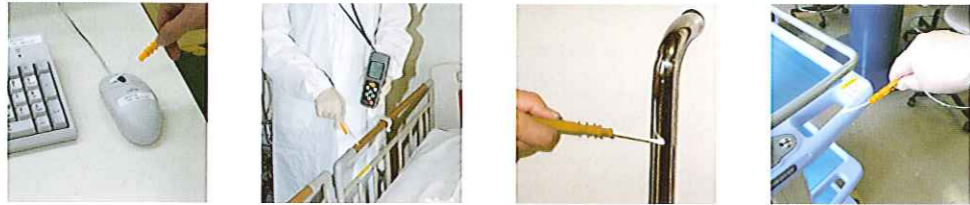
## 環境検査

交差感染の原因になりやすい高頻度手指接触表面を重点的に検査します。清浄度を適切に管理することで、交差感染の発生リスクを最小化できます。

### ▶ 検査場所の選定方法

まずは、業務中の高頻度手指接触表面が、どの程度汚れているのかを認識するために検査をおこないます。

次に、清掃後に検査をおこない、キレイになったかどうかを確認してください。清掃が不十分な場所(基準値以下にならない)は、汚れが蓄積され落ちにくい状態の可能性があります。検査場所は、汚れやすい場所や汚れが落ちにくい場所を設定すると良いでしょう。



パソコン

ベッド柵

ドアノブ

ワゴン

### ▶ ふき取り箇所

ふき取り方法は下表をご参照ください。検査対象ごとに決定し、ルール化します。

### ▶ 管理基準値

検査場所の設備状態、材質などで清掃効果に相違がありますので、管理基準値は施設内の環境レベルにあわせて設定してください。清掃後の測定値が管理基準値より高い場合は、再度清掃する又は清掃方法を改善してください。

## ふき取り方法例

検査場所、管理基準値及びふき取り方法(例)です。

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
<b>▶ ナースステーション</b>		
ドアノブ	200	ドアノブ全体をふき取る
机	500	四隅・中央の10cm四方をふき取る
ワゴン	200	アーム全体をふき取る
聴診器	200	チェストピース全体をふき取る
血圧計ポンプ	500	ポンプ全体をふき取る
点滴台	500	ハンドル部分全体をふき取る
電話受話器	200	受話器部分全体(内側・外側)をふき取る
ナースコール受話器	200	受話器部分全体(内側・外側)をふき取る
パソコン(キーボード)	200	表面全体をふき取る
パソコン(マウス)	200	表面全体をふき取る
冷蔵庫取っ手	200	取っ手全体(内側・外側)をふき取る
<b>▶ 病棟</b>		
オーバーテーブル	500	四隅・中央の10cm四方をふき取る
ドアノブ	200	ドアノブ全体をふき取る
ベッド柵	200	柵上部3ヶ所(右・中央・左)の10cm幅をふき取る
ナースコールボタン	200	ボタン全体をふき取る
スイッチ各種	200	スイッチ全体をふき取る
<b>▶ 中央材料室</b>		
鋼製小物	100	ボックスロック部・先端の凹凸部分などを中心にふき取る
作業台	500	四隅・中央の10cm四方をふき取る
保管庫(ノブ)	200	ノブ全体をふき取る
ドアノブ	200	ドアノブ全体をふき取る

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
<b>▶ 内視鏡室</b>		
消化器内視鏡		
① 鉗子口	100	綿棒が挿入可能な範囲全体をふき取る
② 送気・送水チャンネル	100	綿棒が挿入可能な範囲全体をふき取る
③ 吸引チャンネル	100	綿棒が挿入可能な範囲全体をふき取る
④ 先端部	100	レンズ部と先端から1cm程度全体をしっかりとふき取る
内視鏡保管庫	200	内視鏡が接触する部分の表面10cm四方をふき取る
検査ベッド周辺機器	200	スイッチなどをふき取る
<b>▶ 厨房</b>		
包丁	200	刃の両面全体と刃の付け根をふき取る
野菜皮むき	200	刃の先端をふき取る
玉杓子	200	取っ手以外全体をふき取る
まな板	500	中心部分10cm四方の縦横をふき取る
野菜ザル	200	中央底部分10cm四方の縦横と上端部分内面1周をふき取る
水道栓	200	蛇口の取っ手全体をふき取る
シンク	200	シンクの四隅角をふき取る
冷蔵庫(取っ手)	200	取っ手全体をふき取る
出入口ドアノブ	200	ドアノブ全体をふき取る
盛り付け台	200	中心部分の10cm四方の縦横をふき取る
<b>▶ 手指</b>		
手の平(きき手)	1000	手の平全体を縦横5~10往復、指の間、指先をふき取る

その他、透析室、手術室、各検査室の診断装置、撮影装置、処置台なども検査対象にすると良いでしょう。

### 用語解説

#### 測定値の単位RLUとは

Relative Light Unit(相対発光量)です。この測定はホタルの発光反応を利用して、ATPの量を光に変えて測定しています。

#### ATPとは

Adenosine triphosphate(アデノシン三リン酸)の略語で、汚れの指標となる物質です。

#### AMPとは

AMP(アデノシン一リン酸)はATPが変化した物質です。

AMPはATPに再生して測定しています。(ATPサイクリング法)

製造元/お問合せ先

## キッコマン食品株式会社

**kikkoman** バイオケミカル事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-1-1  
TEL:03-5521-5490 FAX:03-5521-5498  
E-mail: biochem@mail.kikkoman.co.jp  
URL: http://www.kikkoman.co.jp/bio/

本カタログに記載された内容は、了解なしに変更させていただくことがあります。  
©2010 Kikkoman Corp. (07-1)

kikkoman

## プラスAMPで高感度! ATP+AMPふき取り検査 活用マニュアル — 医療編 —

ATP+AMPふき取り検査とは、ATPとAMPの量を測定する検査です。ATP+AMPは医療現場の汚れ(血液、体液、排泄物、微生物等)に多量に含まれる物質です。ATP+AMPふき取り検査での確な衛生教育、洗浄度管理をおこない、院内感染を防ぎましょう。

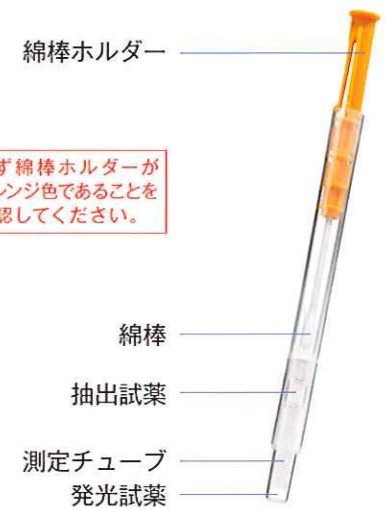
## 検査に必要な機器・試薬

### ルミテスター PD-20



### ルシパック Pen

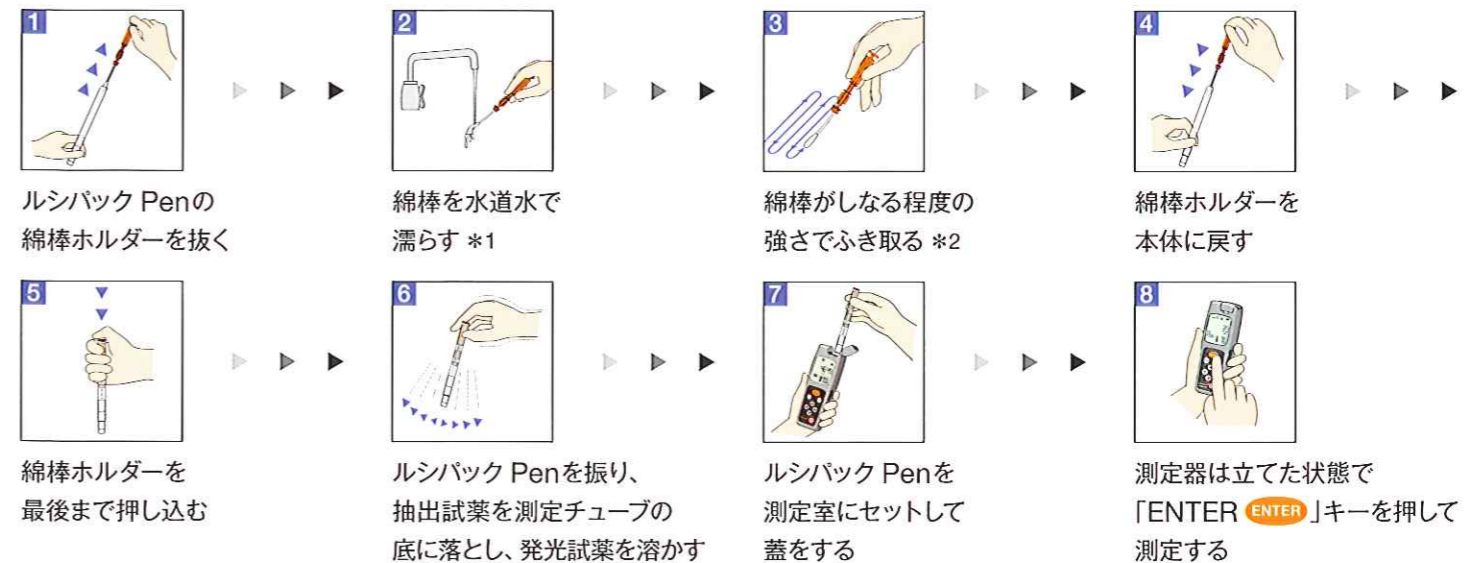
ルミテスター PD-20専用



必ず綿棒ホルダーがオレンジ色であることを確認してください。

## ふき取り検査方法

ルシパック Penは、検査の約20分前に冷蔵庫から出し、室温に戻してからご使用ください。



\*1 生理食塩水は使用しないでください。

\*2 検査表面にアルコールなど殺菌剤が残っていると正しい測定ができない場合があります。

測定が終わったらルシパック Penは必ず測定器から取り出してください。  
ルシパック Penを入れたままの状態では液漏れなどにより故障の原因になります。

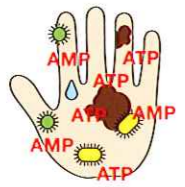
## 手洗い講習会

院内感染対策は正しい手洗いから！

ATP+AMPふき取り検査なら、普段の手洗いの効果をその場で数値で確認できるので、インパクトの強い講習会が実施できます。

ATP+AMP量が多い

ATP+AMP量が少ない



手洗い前

\*汚れが多くあることがわかる



手洗い後

\*汚れが少ないことがわかる



### 手洗い講習会の進め方

手洗い前にATP+AMPふき取り検査を実施します。

手洗い前の状態（普段の手指状態）がどの程度汚れているかを認識するために検査をおこないます。



次に普段通りに手を洗います。

普段おこなっている手洗いを再現することで、正しい手洗いをしているかどうかを次の検査で確認できます。



手洗い後に再度ATP+AMPふき取り検査を実施します。検査結果により、手洗いの評価ができます。

### 手指のふき取り方法

ふき取り方法は次の通りです。洗い残しが多い可能性がある部分をふき取ることで、手洗いの評価ができます。



手の平を縦にふく

手の平を横にふく

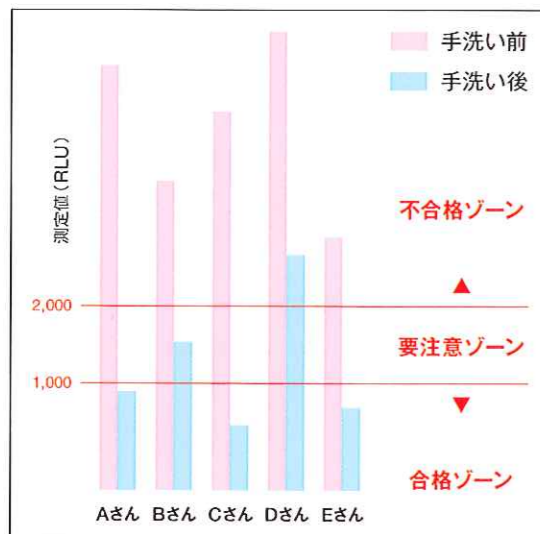
指の間をふく

指の先をふく

### 管理基準値

基準値は、1000RLU以下を合格とし、2000RLU以上は不合格として管理をしている施設があります。

但し、基準値は従事者のレベルに合わせて各施設で設定してください。評価例として、次の事例を紹介します。



#### 施設からのコメント

ATP+AMPふき取り検査を活用することにより、BさんとDさんの手洗いが合格基準に達していないことがその場で分かりました。そこで、手洗い方法の再指導など迅速に対応し、その後は常時正しい手洗いを実践できるようになりました。また、従事者の衛生意識の向上にも役立ちました。

#### 参加者からのコメント

- ▶ 手洗い後に要注意判定となったBさんより  
「いつもきちんと手洗いをしているつもりだったが・・・普段の手洗いを見直すきっかけになった」
- ▶ 手洗い後に不合格判定となったDさんより  
「正しい手洗い方法が習得できた」

## 再使用医療機器

鋼製小物・消化器内視鏡などの再使用医療機器類は、非常に高い清浄度が求められています。

現在の洗浄方法は確かか、洗浄装置は正しく動作しているか、不安に感じたことはありませんか。

ATP+AMPふき取り検査なら、その場で簡単に洗浄度をチェックできます。

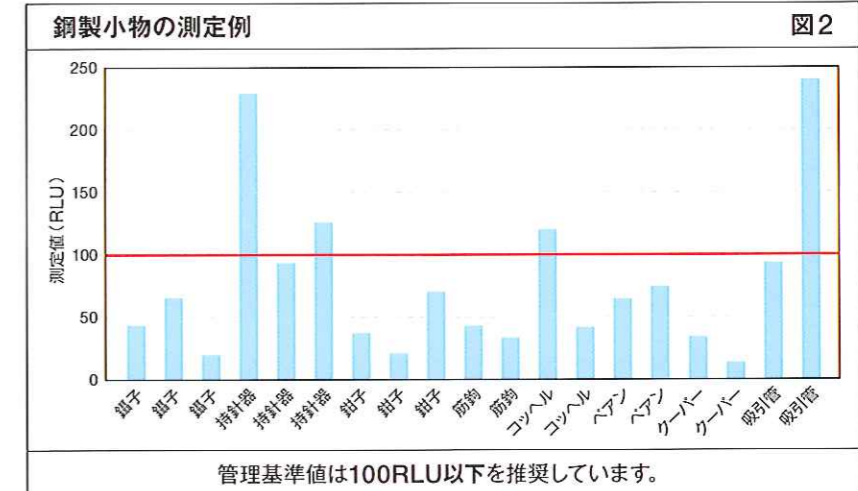
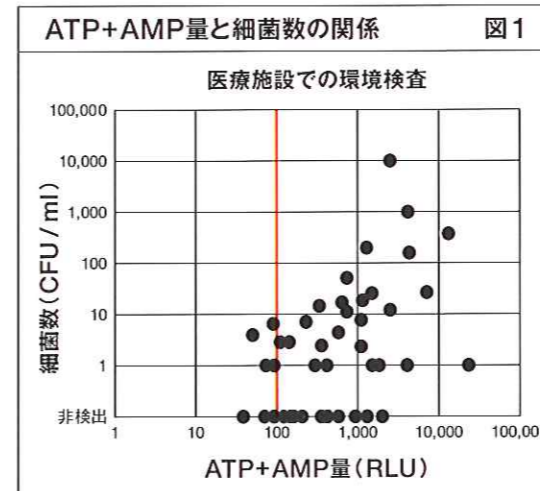
ATPふき取り検査は「鋼製小物の洗浄ガイドライン2004(日本医療機器学会)」に掲載されています。

### 鋼製小物・消化器内視鏡の管理基準値

測定値を100RLU以下になるように洗浄することにより、衛生的な状態で管理することができます。(図1)

例として、基準値は100RLU以下を合格として管理をしている施設があります。(図2)

洗浄不良(基準値以下にならない)が認められた器具は、再洗浄する又は洗浄方法を改善してください。



管理基準値は100RLU以下を推奨しています。

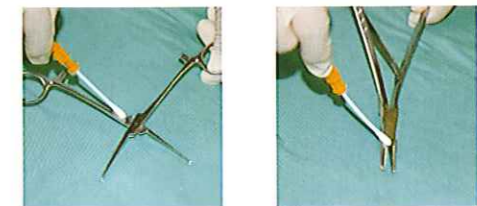
### 鋼製小物

#### ▶ 検査のタイミング

検査のタイミングは、洗浄後(乾燥後)におこないます。

#### ▶ ふき取り箇所

器具のふき取り箇所は、基本的に手で持っている部分以外の全体をふき取ります。特に、凹凸のある部分、ボックスロック部などは洗浄不良になりやすい箇所ですので、必ずふき取るようにしてください。構造が複雑な器具なども洗浄不良になりやすいので、検査対象にすると良いでしょう。



#### ▶ 正しく測定をするために

洗浄後(乾燥後)は、ふき取り検査箇所を決して素手でさわらないでください。素手でさわると、手指由来のATP+AMPが付着してしまい、正しい検査ができません。検査の際には、プラスチック製(パウダーフリー)の手袋を着用することをおすすめします。

### 消化器内視鏡

#### ▶ 検査のタイミング

検査のタイミングは、洗浄後におこないます。

#### ▶ ふき取り箇所

ふき取り箇所は、基本的に4箇所です。内視鏡1本につき、ルシバック Pen 4本を使用します。

- |              |   |
|--------------|---|
| 1 鉗子口        | 綿棒が挿入可能な範囲をふき取ります。<br>綿棒を回転させながら、内部全体をしっかりとふき取ります。<br>□ レンズ部と先端から外側1cm程度全体をしっかりとふき取ります。 |
| 2 吸引チャンネル    |   |
| 3 送気・送水チャンネル |   |
| 4 先端部        |   |

#### ▶ 正しく測定をするために

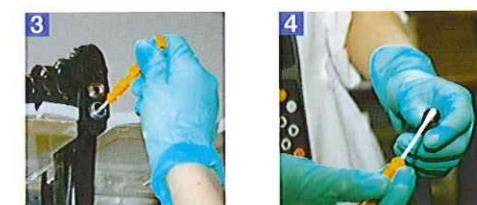
洗浄後には、ふき取り検査箇所を決して素手でさわらないでください。素手でさわると、手指由来のATP+AMPが付着してしまい、正しい検査ができません。検査の際には、プラスチック製(パウダーフリー)の手袋を着用することをおすすめします。



鉗子口



吸引チャンネル



送気・送水チャンネル



先端部